



株主・投資家のみなさまへ

第78期中間事業報告書

平成17年3月1日から平成17年8月31日まで

イズミヤ株式会社



■ TOP MESSAGE	
株主のみなさまへ	01
■ Izumiya TOPICS	
イズミヤトピックス	03
■ Izumiya GROUP	
イズミヤグループの事業	07
■ Izumiya SOCIAL & ENVIRONMENTAL REPORT	
社会・環境活動	09
■ FINANCIAL REPORT	
中間決算概要	11
■ STOCK INFORMATION	
株式の状況	13
■ PROFILE	
会社概要	14
■ INFORMATION	
株主インフォメーション	15



古紙配合率100%の
再生紙を使用しています



環境に配慮して大豆インキ
で印刷しています

株主のみなさまへ

平成17年11月

取締役社長 林 紀男



株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。ここに当グループ第78期中間期（平成17年3月1日から平成17年8月31日まで）の決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

環境の変化に対応 改装投資を実施

業績全般の概況

関西においても大型商業施設やマンション開発が活発となり、消費環境が整備されてまいりました。

そのような環境の変化に対応するために、店舗の特性や競合状況に応じた改装投資を6店舗で実施いたしました。販促面では、チラシ作成工程のデジタル化による製作単価引き下げにより、配布枚数を増加して商圈拡大を図りました。

また、同時にクラブカードによる商圈内シェアアップを実施した結果、衣料品と住居関連品の客数増が図れましたが、食料品については、農作物や米の相場安による単価ダウンにより苦戦しました。今期新たに設置した業務改善室を中心に総費用のコントロールを行った結果、単体は営業収益で71百万円の増収、経常利益で1億21百万円の増益となりました。また、大阪デリカ、サン・ロジサービスのグループ外からの受注売上減少により、連結は営業収益で44億60百万円の減収となりましたが、費用削減により経常利益は3億21百万円の増益となりました。

当グループは、財務体質の一層の健全化と収益構造の改善を図るため、「固定資産の減損に係る会計基準」を平成18年2月中間期から早期適用することといたしました。その結果、平成18年

2月期中間期において58億83百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

また、当初減損対象としていたものを含む固定資産の売却により、24億53百万円の売却損失を特別損失として計上いたしました。

その結果、当中間期の連結業績は営業収益1,792億51百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益33億10百万円（前年同期比7.2%増）、経常利益28億87百万円（前年同期比12.5%増）、当中間純損失1億50百万円となりました。

当中間期の配当金につきましては、1株当たり普通配当6円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましても、1株当たり普通配当6円を予定しております。

新規出店、店舗改装

平成17年6月にスーパーマーケット業態の稲田新町店（大阪府）を、ショッピングセンター「フレスポ東大阪」内に開店いたしました。「健康的な食生活をライフスタイルとして提案できるお店」を目指し、大阪府栄養士会の栄養士による調理方法の提案や、大阪府の推進する「健康おおさか21」と連動した健康的な食生活の売場提案を行っております。

一方、既存店を活性化するために、地域特性や競合環境等、マーケットに対応した改装を積極的に実施いたしました。平成17年3月に牛久店（茨城県）、4月にくずはモール店（大阪府）、5月に

阪和堺店（大阪府）、6月に白梅町店（京都市）、7月に大東店（大阪府）、原山台店（大阪府）を改装しました。また、各務原店（岐阜県）を平成17年6月に閉店し、全館をリレーンディングいたしました。

プライベートブランド「good-i」の開発

当社のプライベートブランド「good-i」は、食料品、衣料品、住居関連品を合わせた取扱品目数の合計が1,538品目で、その売上高構成比は6.8%となりました。

商品開発にあたっては、味や素材にこだわり、「ええもん安い」に基づく活動を展開いたしました。また、お客様のご意見を定期的にまとめて、商品の改善とより良い商品の提供に努めております。

また、当社品質基準に基づく工場調査や商品検査の徹底を図っておりますが、新たに品質表示基準を設けて、製造委託先の監督体制を強化してまいります。

グループ事業強化

カジュアルファッションのスペシャリティチェーンを目指す㈱テンファッションズは、当上期に6店舗を出店いたしました。4店舗をグループ外に出店いたしました。

書籍・雑誌等の販売会社のアミーゴ㈱は、店舗面積に応じた店舗モデルを確立し、グループ外に4店舗を出店いたしました。

飲食事業会社の㈱サンローリーは、「ミスタードーナツ」、「ポポラマーマ（ゆでたて生パスタ）」、「函館市場（回転寿司）」などのマルチFC事業会社として更に事

業規模の拡大を図っております。当上期には4店舗をグループ外に出店いたしました。

玩具・ゲーム等の販売会社の㈱ペリカンは、新たな事業の柱として雑貨の取扱強化を打ち出し、専門雑貨ショップ「ピザッカ」への業態転換を推進しております。当上期には「ピザッカ」を6店舗出店いたしました。

その他、グループ各社においても、グループ外への出店を推進いたしました。

変化への戦略的対応 営業・業務改革の推進

個人消費は緩やかな回復傾向にありますが、物からサービスへの移行や、消費の二極化、多様化傾向が見受けられます。

このような環境の中、当グループは平成17年度経営方針に掲げた「変化への戦略的対応～時代性、効率化、スピード感」のスローガンのもと、全従業員の力を結集し、営業改革と業務改革を進めてまいります。

スーパーセンター出店

今年度よりスーパーセンターの多店舗展開を進めてまいります。平成15年7月に開店したスーパーセンター1号店の八尾店（大阪府）で培ったノウハウを、今後のスーパーセンター出店に活かしてまいります。

今年度下期は八幡店（京都府）、堅

田店（滋賀県）の出店を計画しております。また、平成18年度初めには、神戸ポートアイランド店（神戸市）、神戸玉津店（神戸市）を計画しており、その出店準備も進めております。

営業力強化

営業力強化の要として、現場主義を徹底し、「ええもん安い」をさらに追求してまいります。

食料品においては、「地域の食文化の継承」を目的に、地場野菜や地鶏、産地直送の鮮魚、地元有名商品の取り扱い等を強化しております。

衣料品においては、気温の変化に左右されない、時代性を取り入れたライフスタイル提案型商品の品揃えに取り組んでまいります。

住居関連品においては、「美と健康」の強化に取り組んでいます。専任のビューティアドバイザーを配置したカウンセリング化粧品売場での取り扱いブランドの拡大や、医薬部外品、健康食品の取り扱い店舗の拡大を推進しております。

営業全般を通して、当社プライベートブランド「good-i」の拡大、インターネットオークションを中心にしたWWREの活用、ロジスティックスの効率化等による商品原価の更なる引き下げについては継続的に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



Izumiya TOPICS

イズミヤトピックス



スーパーセンターの多店舗展開

品揃えの幅と深さを追求し、エブリデーロープライスを実現



今年度よりスーパーセンターの多店舗展開を進めてまいります。平成15年7月に開店したスーパーセンター1号店の八尾店（大阪府）は、「お客様の普段の生活に必要な商品を豊富により安く提供し続ける店」をコンセプトに、ローコスト運営に努め、日々の暮らしに必要な商品をお安くご提供し、地域のお客様のニーズにお応えして、高いご支持をいただいております。

今年度下期は八幡店（京都府）、堅田店（滋賀県）の出店を計画しております。また、平成18年度初めには、神戸ポートアイランド店（神戸市）、神戸玉津店（神戸市）を計画しており、その出店準備も進めております。

■ スーパーセンター出店状況（※印は予定）





健康的な食生活をライフスタイルとして提案できるお店

平成17年6月 デイリーカナートイズミヤ稲田新町店オープン!!



平成17年6月29日(水)に、「デイリーカナートイズミヤ稲田新町店」が東大阪市稲田新町にオープンしました。

健康と美味しさをキーワードに、プラスαの品揃えが充実したお店を目指しております。中でも、健康については大阪府が進める「健康おおさか21」の取り組みに賛同し、大阪府栄養士会とタイアップしたクッキングサポートコーナーをはじめ、ヘルシーメニューの提案やイベント開催など、今まで以上に充実した提案や相談などで、健康的な食生活をサポートしてまいります。

◀ 稲田新町店(大阪府東大阪市)



お気軽に「ええもん安い」イズミヤへ

平成17年4月 イズミヤくずはモール店リニューアルオープン!!

京阪本線樟葉駅前にて営業を行っていた旧くずはモール街が平成17年



▲ くずはモール

4月14日(木)、大人の感性を大切にしたライフスタイル提案型の高感度なショッピングセンターとして生まれ変わりました。イズミヤくずはモール店は、本館の2～3階にテナント出店いたしました。

団塊ジュニア層のお父さん、お母さん世代(団塊世代)もお気軽に良い雰囲気です「ええもん安い」お買い物を楽しんでいただける店を目指して、



▲ くずはモール店(大阪府枚方市)

幅広い世代の方にご満足いただける品揃えを強化してまいります。

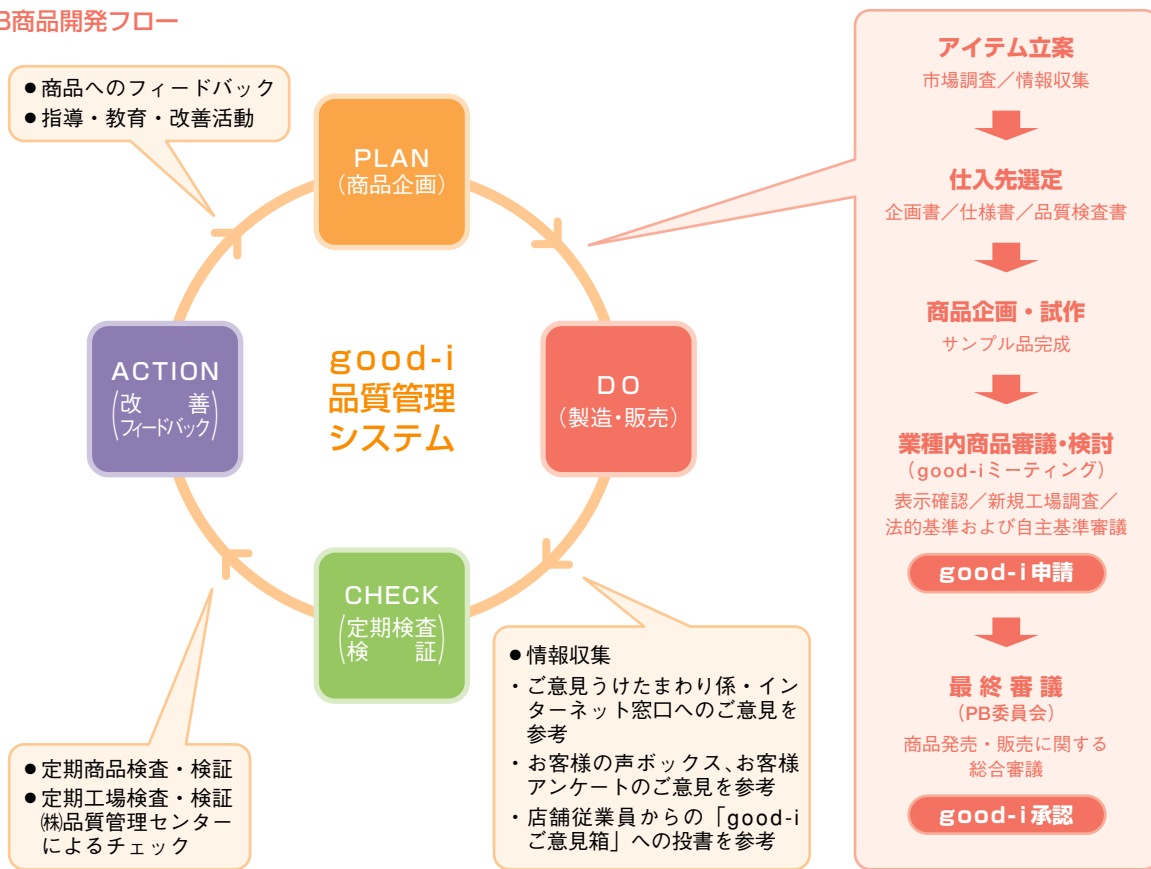


安全で安心できる商品の提供のために

お客様の声を生かした自社開発商品「good-i」

イズミヤは、「安全で安心できる商品をお客様に」という思いを込め、平成13年7月から衣料品・食料品・住居関連品の3分野にわたる自社で開発したプライベートブランド（PB）商品「good-i」を販売しています。「こんな商品があればいいな」「ここを改善して欲しい」というお客様の声を反映させながら商品開発を進めております。

PB商品開発フロー



good-iブランド政策

“good”は、当社の基本方針である「ええもん安い」の“ええもん”を表すとともに、お客様、地域社会、お取引先様、従業員との関係が常にgoodでありたいという願いと姿勢を表しています。“i”はイズミヤだけでなく、私〔お客様の視点〕、愛〔愛のある商品〕、アイデア〔アイデアに富んだ商品〕、アイ(eye)〔新しい視点〕を表しています。

「good-i」商品は、お客様のさまざまなご要望にお応えするために、大きく4つのニーズに分けて企画しており、それぞれ「クオリティ」、「ハートフル」、「チャレンジ」、「グッド・アイ」というブランド名で表現しています。



“ファッション”や“テイスト”など人の五感に訴えることを重視しています。



良質素材、こだわりの製法、高機能などの特別な“品質”を重視しています。



地球環境や人の健康・美容への配慮など、地球と人への“やさしさ”を重視しています。



無駄を省いた確かな“安さ”を重視しています。

■ 冷凍食品「good-iクオリティ北海道栗かぼちゃ」

お客様の健康志向が高まる中、「生産者の顔が見える野菜を」というご要望を多くうかがうようになってきました。

こうしたご要望にお応えした商品の一例である「good-iクオリティ北海道栗かぼちゃ」は、仕入れ先の選定にあたり、おいしいかぼちゃの生育条件を備えた北海道湧別地区産の商品を企画し、20軒以上の農家から当社の品質基準を満たす農家を厳選。味には土壌や日照条件が影響するため、畑単位でかぼちゃの出し具合を確かめては試作を繰り返し、平成16年12月から発売しました。

お客様からも「解凍しても甘くてホクホクした食感が楽しめる」とご好評をいただいています。今後も味と安全性を継続的に確認しながら、生産量を確保してご好評にお応えしていきます。



▲ good-iクオリティ北海道栗かぼちゃ



Izumiya GROUP

イズミヤグループの事業

イズミヤ株式会社（当社）の営む事業は衣料品、食料品、ならびに、住居関連品の総合小売業であり、当事業を補足する、食品製造・輸入事業、サービス事業、ファイナンス・保険事業、不動産事業、ホテル事業、旅行業、文化・遊戯施設事業、レストラン事業、専門店事業を営む各関係会社があります。

その中の大阪デリカ株式会社および株式会社テンファッションズのご紹介をいたします。



食料品製造 大阪デリカ株式会社

イズミヤへの総業提供で培われたノウハウを活用して、弁当・惣菜の持ち帰り専門店「楽楽才菜」（らくらくさいさい）をオープンしました。店名の楽楽には、お客様の毎日のお食事を楽しく楽しくお手伝いをしたいという願いを込めています。「厳選されたお米を使用し、ガス火でふっくら炊き上げた美味しいご飯のおべんとう」や「ご家庭ではちょっと真似のできないくせになる味のおかず」「しっかり味わえる、バラエティに富んだ、ちょっといい家庭料理」を多数品揃えしています。今後は多店舗展開を推進し、製販一体型企業を目指してまいります。

衣料品販売 株式会社テンファッションズ

婦人服・靴などを扱い、14の業態を全国108ショップにて展開しています。各業態のテイストを活かしながら、より専門化、大型化を進めています。各ショップでは、お客様のライフスタイルに合わせた商品の展開、トータルコーディネートができる品揃えを目指し、店づくりを進めております。

また、めまぐるしく変化するファッションビジネスの中において、迅速かつ的確に世の中のニーズに応えるべく、戦略型情報システムを駆使しながら経営を行っております。





お客様の声のフィードバック体制



イズミヤは、お客様に十分に満足いただけるサービスを提供できる仕組みを構築するだけでなく、常に改善していく必要があると考えています。その重要な推進力となるのが、お客様の声です。

当社では、3つの受信窓口を通じてお客様の声にお応えしています。お寄せいただいた声に対しては「ご意見うけたまわり係」と「お客様サービス室」の2部署が対応し、全社で情報を共有するとともに、レベルアップのための課題を抽出し、改善を図っています。

●フリーダイヤル

ご意見うけたまわり係

平成11年度からフリーダイヤル(0120-26-5050)を開設。番号は、チラシと「good-i」商品に記載しています。企業と消費者の中間的立場にある有資格者・消費生活アドバイザーが担当しています。

平成16年度の「ご意見うけたまわり係」での総受信数は計4,230件(昨年度比104%)となりました。内容については、「設備保全」に関する苦情の増加が顕著であり、健康増進法が施行され受動喫煙を心配する声や、駐車場の身体障害者用スペースの利用法について、また刃物による凶悪事件が多発した世情不安を背景に、施設店舗の安全対策について、多くのご意見を受信しています。

●電子メール

インターネット窓口

平成16年1月から開設。受信数は増加傾向にあり、お客様の声をうけたまわる重要な窓口になりつつあります。

フリーダイヤル同様、消費生活アドバイザーが対応します。

(<http://www.izumiya.co.jp/info/index.html>)



●投書

お客様の声ボックス

平成12年度からイズミヤ全店に設置。備え付けの用紙にご意見を記入する形式で匿名でも投函していただき、各店舗の担当者から回答させていただきます。

全店舗で集まった「声」は、「お客様サービス室」に集約され、全社的な課題の抽出とサービスレベル向上につなげています。





社会・環境活動



環境配慮型商品の提供

環境への取り組み

イズミヤでは環境配慮型商品の基準を設け、製造から販売、廃棄、リサイクルまですべての段階で環境への負荷を軽減させることをめざして、商品の開発と仕入れに取り組んでいます。

たとえば食品では、法律やガイドラインに基づいた活動だけでなく、全国の生産者の皆様とともに、自然や土壌への負荷に配慮した商品づくりを進めています。

独自基準の環境配慮型商品

「エコ&ヒューマンコンシャス商品」

イズミヤでは環境配慮型商品を提供するにあたり、ナショナルブランド（仕入れ）商品とプライベートブランド（開発）商品の両方について環境配慮型商品を認定する基準を設け、積極的に環境と人にやさしい商品の品揃えに取り組んでいます。

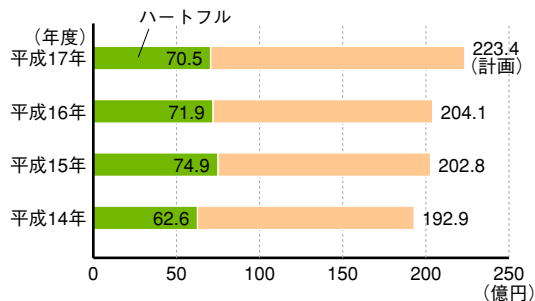
これらの商品を総称して「エコ&ヒューマンコンシャス商品」として管理し、環境保全を考えた新しいライフスタイルの提供に努めています。

環境負荷低減を目指したプライベートブランド

「good-i ハートフル」

プライベートブランドの「good-i ハートフル」は、商品の生産から消費・廃棄されるまでのライフサイクル全体での環境負荷低減や人へのやさしさを追求。リサイクル原料を使用した商品、リフューズ（自然環境を汚さない）商品、アトピーや敏感肌の人にもやさしい商品などを、お客様の意見に耳を傾けながらイズミヤ独自の厳しい基準に従って開発しています。たとえば、無添加シリーズの石けん・シャンプー・リンスなども、お客様の声をもとに開発した商品です。

● 「good-i」売上高に占めるハートフル商品の割合



ハートフル

石けん▶

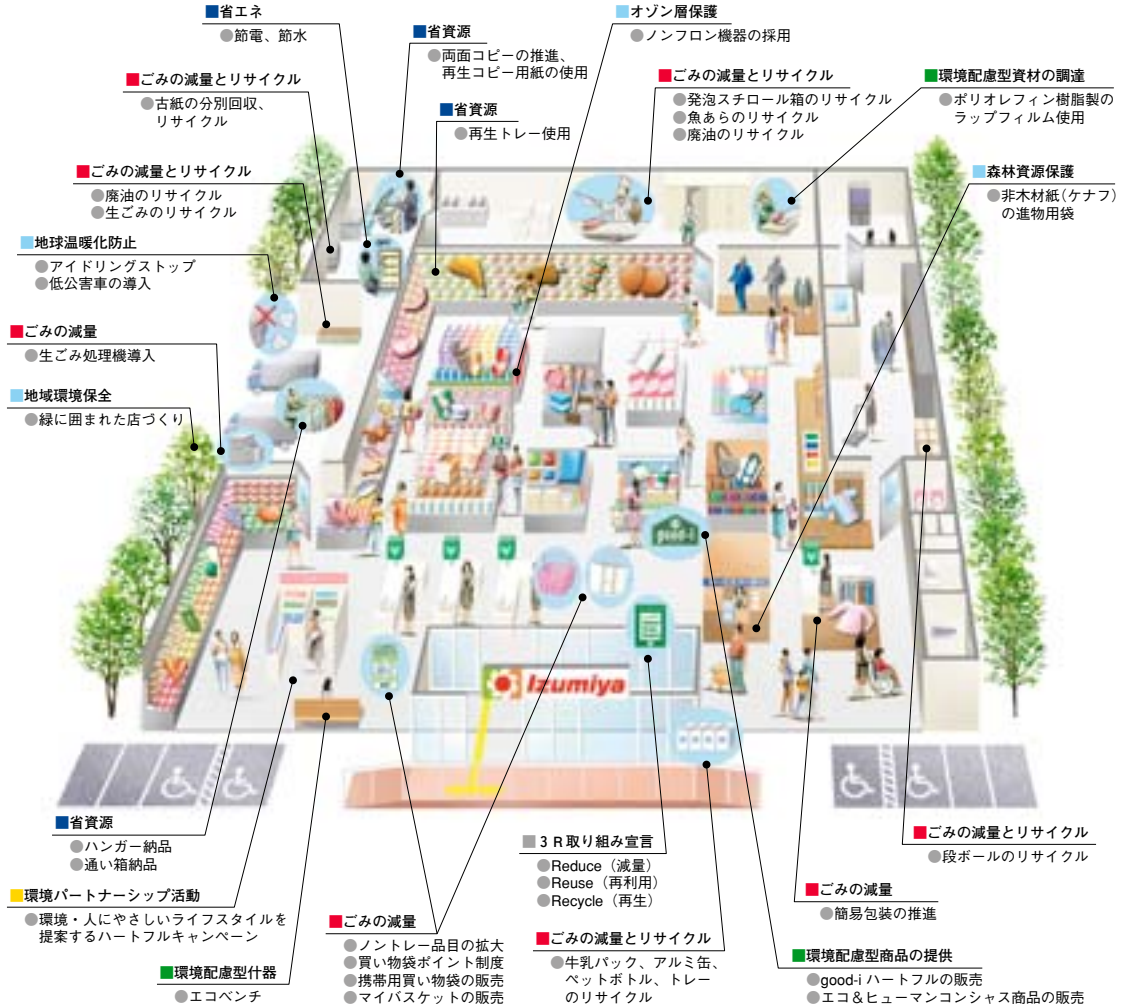


▲ シャンプー・リンス

エコ店舗

人と環境に配慮した店づくりをめざして、省エネ、省資源、廃棄物削減などに取り組んでいます。

また、新店舗、改装店舗では、企画・設計段階からCO₂削減を意識した省エネ設備の導入を進め、再生ペット素材のエコベンチや非塩ビ素材の什器といった循環型設備の導入も進めています。





中間決算概要(単体)

中間貸借対照表 (平成17年8月31日現在) (単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	40,100	流動負債	70,703
現金及び預金	4,851	支払手形	4,787
受取手形	1	買掛金	16,602
売掛金	9,137	短期借入金	37,830
たな卸資産	18,820	一年内償還社債	160
短期貸付金	631	未払法人税等	379
繰延税金資産	2,458	ポイントカード引当金	598
その他	4,372	賞与引当金	986
貸倒引当金	△ 172	設備関係等支払手形	588
固定資産	191,610	その他	8,769
有形固定資産	136,957	固定負債	60,234
建物	56,721	社債	8,020
土地	74,980	長期借入金	41,166
その他	5,255	退職給付引当金	1,264
無形固定資産	9,090	役員退職慰労引当金	216
投資その他の資産	45,562	債務保証損失引当金	91
投資有価証券	11,090	預り保証金	7,018
敷金及び保証金	29,728	長期未払金	2,458
繰延税金資産	1,617	負債合計	130,937
その他	3,824	資本の部	
貸倒引当金	△ 699	資本金	39,066
繰延資産	20	資本剰余金	47,043
社債発行費	20	資本準備金	31,069
		その他資本剰余金	15,974
		資本金及び資本準備金減少差益	16,000
		自己株式処分差損	△ 25
		利益剰余金	14,609
		任意積立金	5,050
		中間未処分利益	9,559
		その他有価証券評価差額金	791
		自己株式	△ 717
		資本合計	100,794
資産合計	231,732	負債及び資本合計	231,732

中間損益計算書 (平成17年3月1日から平成17年8月31日まで) (単位:百万円)

売上高	157,384
売上原価	117,885
売上総利益	39,498
営業収入	4,589
営業総利益	44,088
販売費及び一般管理費	41,832
営業利益	2,256
営業外収益	513
営業外費用	719
経常利益	2,051
特別利益	7,730
特別損失	10,147
税引前中間純損失	366
法人税、住民税及び事業税	142
中間純損失	508
前期繰越利益	10,067
中間未処分利益	9,559



FINANCIAL REPORT

中間決算概要(連結)

中間貸借対照表 (平成17年8月31日現在) (単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	56,484	流動負債	83,166
現金及び預金	6,227	支払手形及び買掛金	26,887
受取手形及び売掛金	11,671	短期借入金	41,697
たな卸資産	23,172	未払法人税等	877
前払費用	1,507	未払消費税等	421
繰延税金資産	2,732	未払費用	6,543
その他	11,967	ポイントカード引当金	696
貸倒引当金	△ 794	賞与引当金	1,358
固定資産	201,190	その他	4,683
有形固定資産	146,393	固定負債	70,247
建物及び構築物	61,720	社債	8,325
機械装置及び運搬具	1,314	長期借入金	49,457
器具及び備品	4,957	退職給付引当金	2,489
土地	78,054	役員退職慰労引当金	371
建設仮勘定	346	預り保証金	7,137
無形固定資産	9,943	長期未払金	2,458
借地権	7,143	その他	8
連結調整勘定	822	負債合計	153,414
その他	1,977	少数株主持分	249
投資その他の資産	44,854	資本の部	
投資有価証券	6,543	資本金	39,066
繰延税金資産	1,117	資本剰余金	47,053
敷金及び保証金	33,383	利益剰余金	17,863
その他	3,876	その他有価証券評価差額金	799
貸倒引当金	△ 66	自己株式	△ 750
繰延資産	20	資本合計	104,032
資産合計	257,696	負債・少数株主持分及び資本合計	257,696

中間損益計算書 (平成17年3月1日から平成17年8月31日まで) (単位:百万円)

売上高	174,818
売上原価	121,177
売上総利益	53,640
営業収入	4,433
営業総利益	58,074
販売費及び一般管理費	54,764
営業利益	3,310
営業外収益	354
営業外費用	777
経常利益	2,887
特別利益	7,750
特別損失	10,185
税金等調整前中間純利益	452
法人税、住民税及び事業税	596
少数株主利益	5
中間純損失	150

中間剰余金計算書 (平成17年3月1日から平成17年8月31日まで) (単位:百万円)

資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	47,055
資本剰余金増加高	10
資本剰余金減少高	11
資本剰余金中間期末残高	47,053
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	18,558
利益剰余金増加高	△ 150
利益剰余金減少高	544
利益剰余金中間期末残高	17,863



■ 株式事項

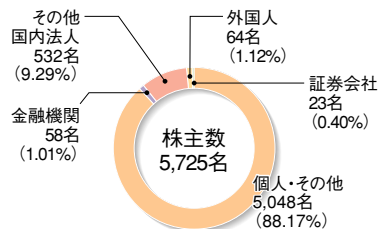
会社が発行する株式の総数 332,615,000株
 発行済株式の総数 87,291,365株
 株主数 5,725名

■ 大株主

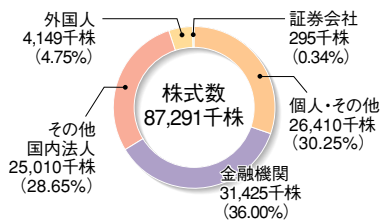
株主名	株式数	議決権比率
株式会社サン・インベストメント	14,019千株	16.46%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,632千株	6.61%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,563千株	6.53%
イズミヤ共和会	4,517千株	5.30%
株式会社あおぞら銀行	3,261千株	3.83%
和田 繁	2,902千株	3.41%
株式会社三井住友銀行	1,900千株	2.23%
イズミヤ自社株投資会	1,830千株	2.15%
三井生命保険株式会社	1,531千株	1.80%
和田 昭 男	1,452千株	1.70%

■ 株式分布状況

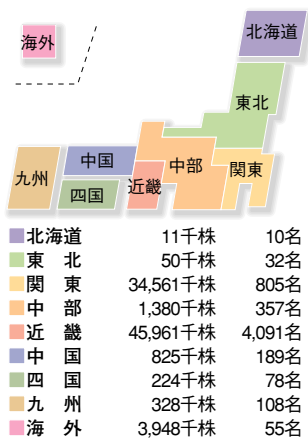
所有者別株主数



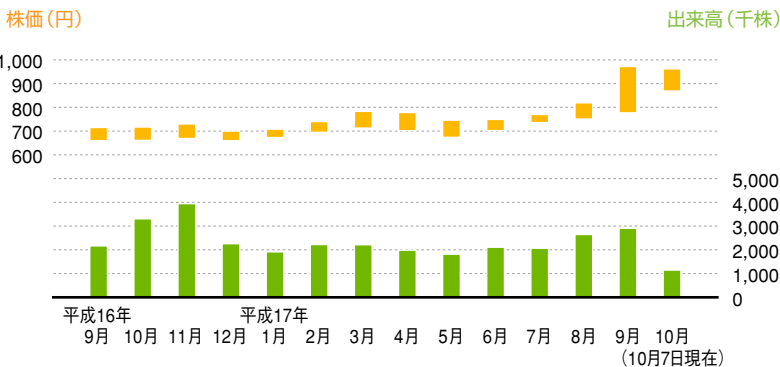
所有者別株式数



地域別分布状況



■ 株価チャート





PROFILE

会社概要 (平成17年8月末現在)

■ 会社の概要

社名	イズミヤ株式会社
本部所在地	大阪市西成区花園南1丁目4番4号
事業内容	衣料品、食料品、電器、家具、 レジャー用品、日用雑貨等の 総合小売業のチェーンストア
創業	大正10年5月
設立	昭和27年4月
資本金	390億66百万円
株式市場	東京証券取引所、大阪証券取引所
店舗数	86店舗 <small>(平成17年9月末現在)</small>
従業員数	正社員 2,429名 パートタイマー 5,998名 <small>(1日8時間換算による期中平均人員)</small>
ホームページ	http://www.izumiya.co.jp/

■ 役員

※取締役社長	林 紀 男	取締役	加藤 雄 介
専務取締役	河野 裕 史	取締役	武智 将
常務取締役	松本 明	取締役	四條 晴 也
常務取締役	太田 彰	監査役(常勤)	西村 雅 敬
常務取締役	坂田 俊 博	監査役(常勤)	司馬田 冽二郎
取締役	和田 実	監査役	小林 守
取締役	内山 悟 志	監査役	村上 正 巳
取締役	浜田 信 夫		

- (注) 1. ※印は、代表取締役であります。
 2. 監査役(常勤)西村雅敬氏、監査役小林 守氏および村上正巳氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。
 3. 当期中における異動は、次のとおりであります。
 (1)平成17年5月25日 取締役会長和田 繁氏、取締役加藤敬一氏は、任期満了により退任いたしました。
 (2)平成17年5月25日 取締役太田 彰氏、坂田俊博氏は、常務取締役に就任いたしました。
 (3)平成17年5月25日 武智 将氏、四條晴也氏は、新たに取締役に選任され、就任いたしました。

■ 店舗一覧 (平成17年9月末現在)

地区名	都道府県名	店 舗 名				
近 畿	大阪府	花園店	原山台店	平田店	箕面東店	中百舌鳥店
		※稲田新町店	淡路店	桑津店	南田辺店	山田西店
		豊新店	我孫子店	住之江店	岸和田店	北助松店
		上野芝店	庄内店	百舌鳥店	住道店	若江岩田店
		美加の台店	放出東店	心斎橋店	松原店	平野店
		天下茶屋店	枚方店	西田辺店	茨木店	国分町店
		泉北店	くずはモール店	久米田店	河内長野店	交野店
		門真店	和泉府中店	上新庄店	今福店	古市店
		千里丘店	大東店	東寝屋川店	泉佐野店	寝屋川店
		上新田店	光風台店	玉手店	西岸和田店	新家店
		和泉中央店	阪和塚店	八尾店		

地区名	都道府県名	店 舗 名					
近 畿	京都府	羽束師店	桂坂店	伏見店	大久保店	長岡店	
		高野店	六地藏店	京都店	白梅町店	洛北店	
		兵庫県	尼崎店	浜田町店	小林店	多田店	昆陽店
			西神戸店	南淡店	御影店	西脇店	
			奈良県	王寺店	学園前店	新大宮店	橿原神宮前店
	和歌山県	和歌山店					
	関 東	千葉県	八千代店	検見川浜店			
			茨城県	牛久店	江戸崎店		
			栃木県	小山店			
	中 部	東京都	板橋店				
岐阜県			真正店				
			津高店				
中 国	岡山県	宮崎店					
		九 州	宮崎県	宮崎店			

- (注) 1. ※印の店舗は、期間中の新設店舗であります。
 2. 各務原店(岐阜県)は、平成17年6月30日に閉店いたしました。
 3. 高殿店(大阪府)は、平成17年9月29日に閉店いたしました。



イズミヤ本社および関東本部において
ISO 14001 認証を取得いたしました。
(環境管理システム)



INFORMATION

株主インフォメーション

■ 株主様ご優待のお知らせ

毎年2月末日、8月31日現在(半年ごと)に1,000株以上の株式をご所有の株主様に一律、下記の株主優待をご用意しております。

▶ ご優待内容

❶❷のうち1つをお選びいただき、同封のハガキ(株主ご優待申込書)にてお申込みください。

※平成17年11月18日(金)までにご優待申込書が到着しない場合は自動的に❷となりますのでご了承ください。

※転居等によりご優待申込書がお手元に届かなかった場合においても、株主ご優待の申込有効期限は平成18年4月末日までとなります。以降はご優待の請求はできませんのでご了承ください。



ご優待品発送は、
12月上旬(予定)
となります。



❶ イズミヤ商品券3,000円
(500円券×6枚)

❷ good-i 特別栽培米※
JAいわて南 ひとめぼれ5kg

※農業・化学肥料を岩手県慣行栽培の50%以下に抑えたお米です。栽培から流通までお米の情報をホームページでご覧いただけます。

■ 株主メモ

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 決算期 | 毎年2月末日 |
| 2. 株主総会 | 定時：毎年5月
臨時：必要の都度随時 |
| 3. 利益配当金受領株主確定日 | 毎年2月末日 |
| 4. 中間配当金受領株主確定日 | 毎年8月31日 |
| 5. 名義書換代理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同 事務取扱場所 大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社
大阪支店証券代行部
電話 大阪(06)6202-7361(代表) |
| 同 取 次 所 | 中央三井信託銀行株式会社
本店および全国各支店
日本証券代行株式会社
本店および全国各支店 |
| 6. 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| | 貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
☞ http://www.izumiya.co.jp/kessan.html |
| 7. 上場証券取引所 | 東京、大阪 |

① 単元未満株式の買増制度についてのご案内

「単元未満株式の買増制度」により、1単元(1,000株)に満たない株数を所有されている場合、1単元(1,000株)に買い増すことができます。

1 単元をお持ちいただく

- ① 株主総会で議決権を行使できます。
- ② 株主優待制度を受けられます。
(ただし、優待制度は1,000株以上一律です)

※なお、毎年2月末日(当社決算期日)から起算して12営業日前から2月末日までの間、および8月31日(当社中間決算期日)から起算して12営業日前から8月31日までの間は受付停止させていただきます。また当社が必要と認める場合、受付停止期間を設けることがあります。

② 郵便貯金口座配当金サービスのご案内

イズミヤの配当金は、銀行口座のほかに郵便貯金口座(通常貯金口座)へのお振込によるお受け取りができます。ご希望の株主様は、下記の名義書換代理人へ配当金振込指定書をご請求のうえ、お申し込みください。

■ 事務のお取扱い(電話お問い合わせ・郵便物送付先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部(証券代行事務センター)
電話：03(3323)7111 (9:00~17:00)

手続用紙請求 専用電話：0120-87-2031(24時間受付)